



2009年3月期 決算説明会資料



2009年5月20日
リンテック株式会社

連結業績の概要①

2009/3月期
('08/4~'09/3)
(A)

2008/3月期
('07/4~'08/3)
(B)

増減
(A-B)

増減率
(%)

(単位：百万円)

売上高	194,901	202,296	▲ 7,395	▲ 3.7%
-----	---------	---------	---------	--------

営業利益	8,498	14,894	▲ 6,396	▲ 42.9%
------	-------	--------	---------	---------

経常利益	5,654	13,279	▲ 7,625	▲ 57.4%
------	-------	--------	---------	---------

当期純利益	3,391	9,308	▲ 5,917	▲ 63.6%
-------	-------	-------	---------	---------

2009/3月期
('08/4~'09/3)
(A)

2008/3月期
('07/4~'08/3)
(B)

増減
(A-B)

増減率
(%)

(単位：百万円)

	2009/3月期 ('08/4~'09/3) (A)	2008/3月期 ('07/4~'08/3) (B)	増減 (A-B)	増減率 (%)	
売上高	リンテック	160,899	172,149	▲ 11,250	▲ 6.5%
	連結子会社	57,415	53,195	4,220	7.9%
	消去	▲ 23,413	▲ 23,048	▲ 365	—
	計	194,901	202,296	▲ 7,395	▲ 3.7%
営業利益	リンテック	2,308	7,336	▲ 5,028	▲ 68.5%
	連結子会社	6,271	7,537	▲ 1,266	▲ 16.8%
	消去	▲ 81	21	▲ 102	—
	計	8,498	14,894	▲ 6,396	▲ 42.9%

●売上高

(1) リンテック単体

液晶関連第2四半期まで好調に推移したこともあり大幅増

印刷用粘・接着素材、半導体関連製品、電子部品関連製品などが大幅減

(2) 連結子会社

円高による海外連結子会社の円換算後の減少額 約▲51億円

太陽電池用バックシートが世界的な需要拡大を受け大幅に増加

リンテック スペシャルティーマフィルムズ 코리아および台湾が大幅増

●営業利益

(1) リンテック単体

(増益要因)

販売価格の改定効果 22億円

親子間の取引価格の見直し 9億円

(減益要因)

販売数量の減少等 ▲49億円

原燃料価格の上昇 ▲21億円

減価償却費の増加 ▲22億円

(2) 連結子会社

(増益要因)

マディコ、リンテック 코리아などでの増収効果

(減益要因)

円高による海外連結子会社の

円換算後の減少額 ▲9億円

親子間の取引価格の見直し ▲9億円

事業部門別連結売上高の概要

2009/3月期
('08/4~'09/3)
(A)

2008/3月期
('07/4~'08/3)
(B)

増減
(A-B)

増減率
(%)

(単位：百万円)

	2009/3月期 ('08/4~'09/3) (A)	2008/3月期 ('07/4~'08/3) (B)	増減 (A-B)	増減率 (%)	
粘着 関連 事業	印刷・情報材事業部門	47,667	50,511	▲2,844	▲5.6%
	産業工材事業部門	39,609	39,982	▲373	▲0.9%
	ヘルスケア事業部門	1,717	1,856	▲139	▲7.5%
	オプティカル材事業部門	39,185	34,612	4,573	13.2%
紙 関連 事業	アドバンストマテリアルス事業部門	26,410	31,912	▲5,502	▲17.2%
	洋紙事業部門	20,217	20,897	▲680	▲3.3%
	加工材事業部門	20,096	22,526	▲2,430	▲10.8%
合計	194,901	202,296	▲7,395	▲3.7%	

2009/3月期
('08/4~'09/3)
(A)

2008/3月期
('07/4~'08/3)
(B)

増減
(A-B)

増減率
(%)

(単位：百万円)

粘着 関連 事業	<ul style="list-style-type: none"> ・印刷・情報材事業部門 ・産業工材事業部門 ・ヘルスケア事業部門 ・オプティカル材 事業部門 ・アドバンストマテリアルス[®] 事業部門 	売上高	149,473	151,901	▲2,428	▲1.6%
		営業利益	6,236	10,801	▲4,564	▲42.3%
紙関連 事業	<ul style="list-style-type: none"> ・アドバンストマテリアルス[®] 事業部門 ・洋紙事業部門 ・加工材事業部門 	売上高	45,427	50,395	▲4,967	▲9.9%
		営業利益	2,262	4,086	▲1,824	▲44.6%

2009/3月期
('08/4~'09/3)
(A)

2008/3月期
('07/4~'08/3)
(B)

増減
(A-B)

(単位：百万円)

	2009/3月期 ('08/4~'09/3) (A)	2008/3月期 ('07/4~'08/3) (B)	増減 (A-B)
設備投資額	8,766	15,137	▲6,371
減価償却費	11,286	9,010	2,276
研究開発費	6,281	6,261	20

2010/3月期
('09/4 ~ '10/3)
(A)

2009/3月期
('08/4 ~ '09/3)
(B)

増減
(A-B)

増減率
(%)

(単位：百万円)

売上高	182,000	194,901	▲ 12,901	▲ 6.6%
営業利益	7,500	8,498	▲ 998	▲ 11.8%
経常利益	7,000	5,654	1,346	23.8%
当期純利益	5,200	3,391	1,809	53.3%

	2010/3月期 ('09/4~'10/3) (A)	2009/3月期 ('08/4~'09/3) (B)	増減 (A-B)	増減率 (%)
--	------------------------------------	------------------------------------	-------------	------------

(単位:百万円)

粘着 関連 事業	印刷・情報材事業部門	45,200	47,667	▲2,467	▲5.2%
	産業工材事業部門	42,100	39,609	2,491	6.3%
	ヘルスケア事業部門	1,700	1,717	▲17	▲1.0%
	オプティカル材事業部門	35,900	39,185	▲3,285	▲8.4%
紙 関連 事業	アドバンスドマテリアルズ事業部門	19,700	26,410	▲6,710	▲25.4%
	洋紙事業部門	19,300	20,217	▲917	▲4.5%
	加工材事業部門	18,100	20,096	▲1,996	▲9.9%
	合計	182,000	194,901	▲12,901	▲6.6%

●印刷・情報材事業部門

前第4四半期以降の厳しい状況が国内・外において今後も続く予想

●産業工材事業部門

自動車関連や建築関連の粘着製品が引き続き低迷することが予想

太陽電池用バックシートの欧米、アジア地区への供給体制強化、国内メーカーへの販売（通期見通し：86億円）

前第3四半期から連結対象とした“リンテックサインシステム(株)”の売上高増加

●オプティカル材事業部門

前第3四半期の後半から第4四半期の厳しい状況に比べ受注が回復してきているものの、夏場以降の需要見通しは不透明

●アドバンス材料事業部門

半導体関連粘着製品は、UV硬化型ダイシングテープの受注が回復基調にあることなどから前期並みの推移と想定。電子装置は、引き続き厳しい状況が続く

積層セラミックコンデンサー用コートフィルム、PDP関連粘着製品については不透明

●洋紙事業部門

郵便物の引き受け件数が年々微減傾向にあることから、主力のカラー封筒用紙への影響

●加工材事業部門

主力の剥離紙や剥離フィルム、合成皮革用工程紙の低迷

炭素繊維プリプレグ用工程紙についても航空機用の本格的な立ち上げまでには至らず

2010/3月期
('09/4~'10/3)
(A)

2009/3月期
('08/4~'09/3)
(B)

増減
(A-B)

増減率
(%)

(単位：百万円)

売上高	リンテック	153,200	160,899	▲7,699	▲4.8%
	連結子会社	52,300	57,415	▲5,115	▲8.9%
	消去	▲23,500	▲23,413	▲87	—
	計	182,000	194,901	▲12,901	▲6.6%
営業利益	リンテック	2,500	2,308	192	8.3%
	連結子会社	5,000	6,271	▲1,271	▲20.3%
	消去	0	▲81	81	—
	計	7,500	8,498	▲998	▲11.8%

● リンテック単体

(1) 増益要因

引き続き原価低減への取り組みと人件費の抑制を含めた固定費の削減 約30億円

(2) 減益要因

販売数量の減少および売上構成要因などによる影響 約30億円

● 連結子会社

(1) 減益要因

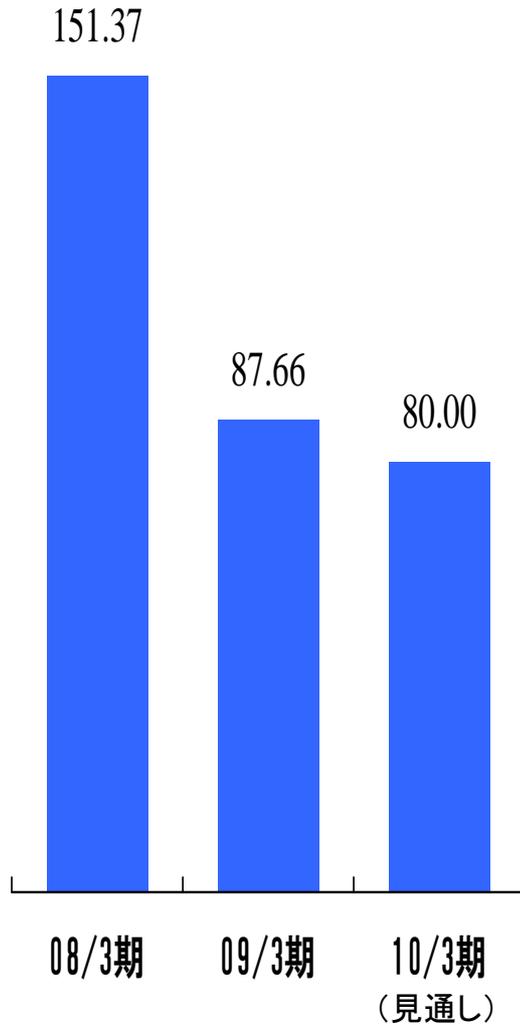
海外連結子会社の円換算後の営業利益減少額 約9億円

(今期想定：1US\$=100円 前期実績：1US\$=102円)

太陽電池用バックシートの増収効果はあるものの、全体として売上高が減少

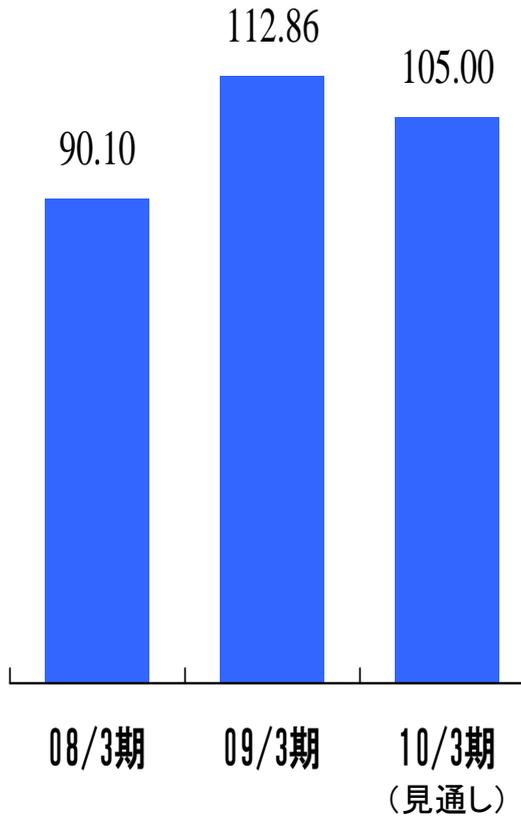
設備投資額

(単位:億円)



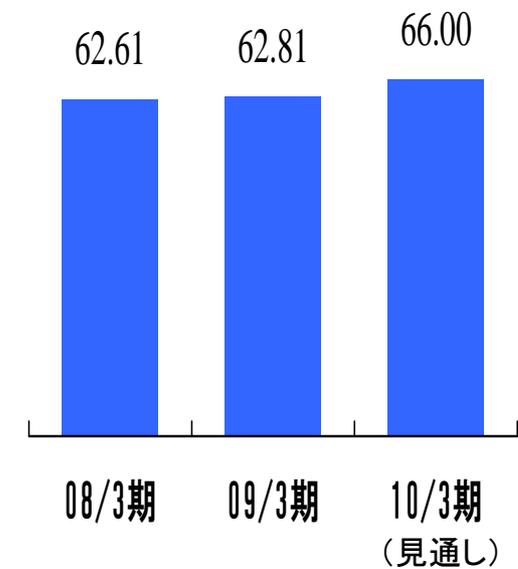
減価償却費

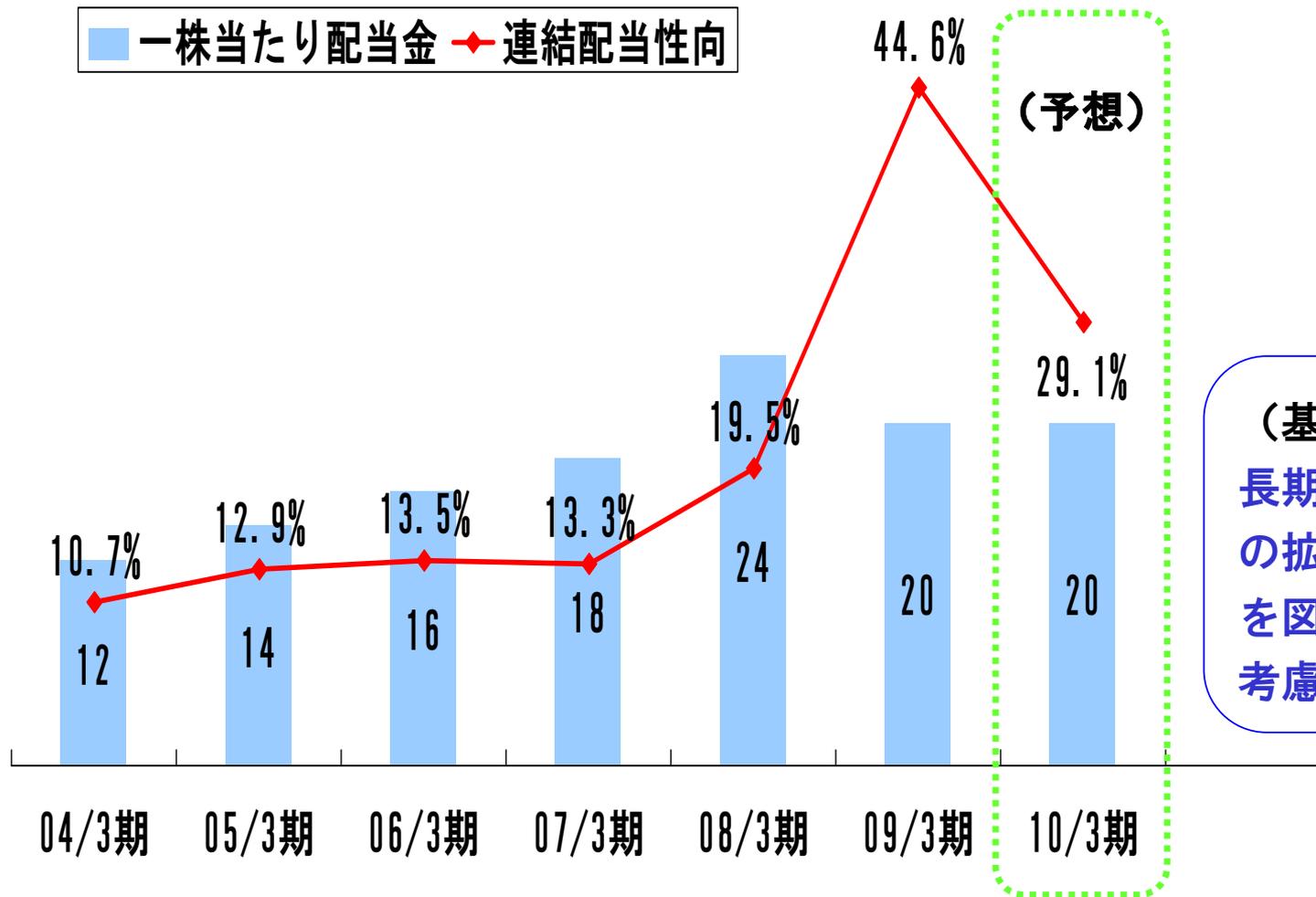
(単位:億円)



研究開発費

(単位:億円)



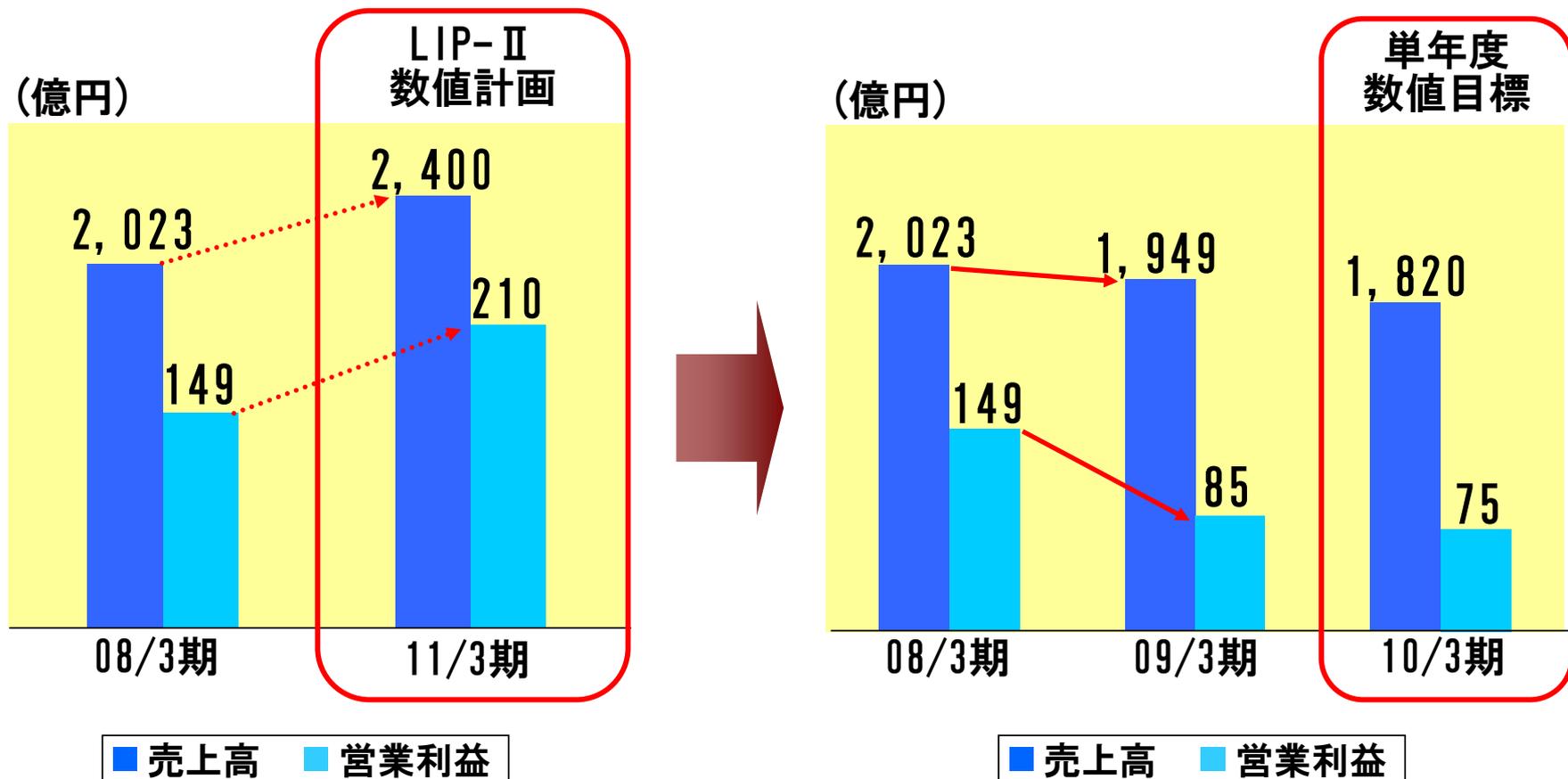


(基本方針)
 長期的視野に立った事業収益の拡大並びに財務体質の強化を図るとともに、連結業績を考慮した配当を実施

連結配当性向目標 20%程度

数値計画をキャンセルし、単年度ごとの数値目標達成にシフト

- ・ 経済環境が急速に悪化し、当面厳しい状況が続くと予想
- ・ 「LIP-Ⅱ」の数値計画達成は極めて困難と判断
- ・ 事業環境の先行きが見通せるまでの間、単年度ごとの数値目標達成に注力



指針は継続し、重点課題は体力強化とさらなる飛躍に向けて見直し

【指 針】⇒ 継続

「飽くなきイノベーション」に挑戦し
持続的成長と収益基盤の強化・拡大を目指す

【重点課題】⇒ 見直し

- ①抜本的な体質改善
- ②情報基盤の整備
- ③次なる飛躍への布石

重点課題① 抜本的な体質改善

- 聖域なきコスト削減の継続推進
- 中長期的視点に立った経営資源の選択と集中

【主な施策】

- 設備投資戦略の見直し
- 新鋭設備への生産集約による生産設備の統廃合
- 人員規模の適正化
- 物流体制の見直し・効率化

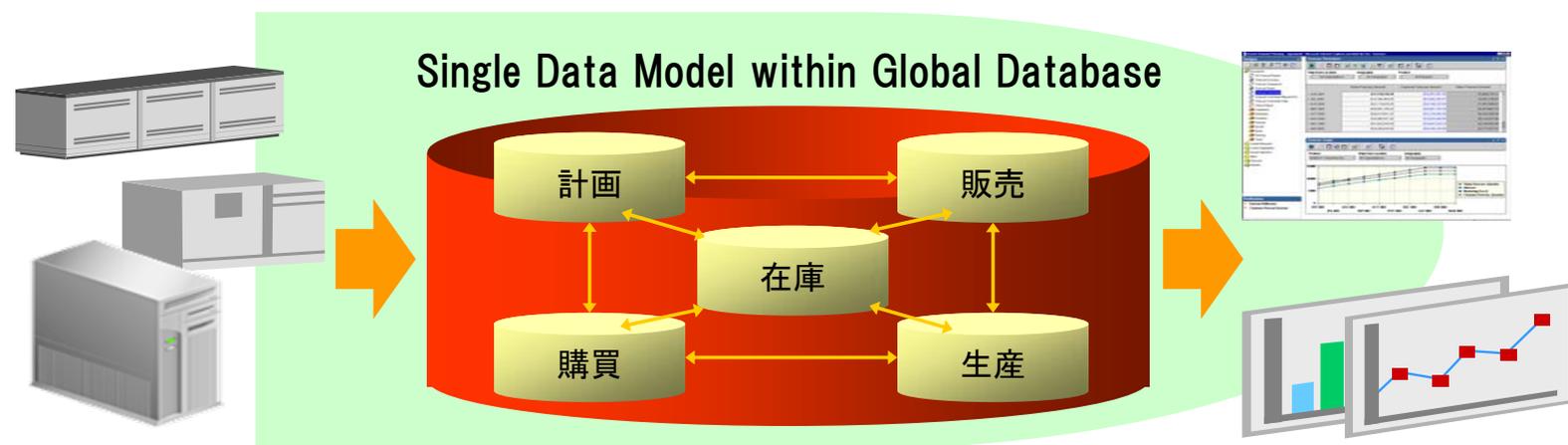


重点課題② 情報基盤の整備

- ・ より迅速かつグローバルな経営判断とさらなる業務改革を推進
- ・ 「円滑な事業運営の実現」「業務の品質向上と徹底した標準化・効率化」
「顧客サービスのさらなる向上」を目指す

【主な施策】

- ・ ERP (統合パッケージ) システムの全面導入
- ・ 2011年4月本格運用開始 ⇒ 順次、グループ会社へ展開



重点課題③ 次なる飛躍への布石

- ・ 次の成長分野である太陽電池用バックシートの優位性の強化
- ・ 中長期的に有望な分野に研究開発資源を集中的に投入

【主な施策】

- ・ 太陽電池用バックシートの新製品投入と生産能力拡充
- ・ 重点研究開発分野：光記録媒体分野、ディスプレイ材料分野
環境・エネルギー分野、医療・医薬分野



本資料の内容に関する注意

本資料に記載された計画や予測等は、資料作成時点での様々な前提に基づいた弊社の判断であり、その内容の正確性を保証したり、将来の計画数値、施策の実現を確約したりするものではありません。また、今後、予告なしに変更されることがあります。